

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6 月 18 日

熊本市長 殿

提出者

住所 熊本市北区植木町亀甲202

氏名 西日本高速道路メンテナンス九州㈱

熊本保全センター植木事業所

所長 石井 正治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 096-272-2703

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西日本高速道路メンテナンス九州㈱ 熊本保全センター植木事業所
事業場の所在地	熊本市北区植木町亀甲202
計画期間	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

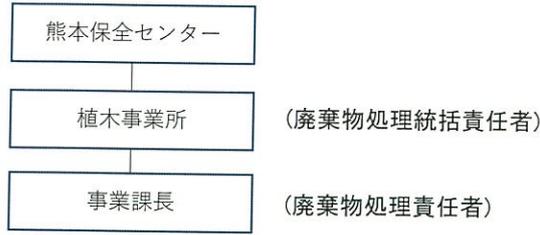
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業 総合工事業(06)
②事業の規模	元請完成工事高 23.7億円
③従業員数	50人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事及び解体工事 ① がれき類：再生利用業者に再生資源化処理を委託し、再生路盤材にリサイクル ② 木くず：再生利用業者に再生資源化処理を委託し、チップにリサイクル ③ 混合物：最終処分業者(安定型又は管理型)へ埋め立て処分を委託



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度 (6 年度) 実績】							
① 現 状	産業廃棄物の種類	別紙のとおり							
	排 出 量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排 出 量		t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
・ 廃棄物を再生処理施設へ委託し、再生資源を積極的に使用する。									
		【目標】							
② 計 画	産業廃棄物の種類	別紙のとおり							
	排 出 量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排 出 量		t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
・ 廃棄物の分別を徹底し再生利用を促進する。									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・ 廃棄物の品目毎に区画を設け、分別管理を徹底している。
② 計 画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・ 現状の取り組みを徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状		【前年度（6年度）実績】							
産業廃棄物の種類	別紙のとおり								
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特になし									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	別紙のとおり								
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
特になし									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状		【前年度（6年度）実績】							
産業廃棄物の種類	別紙のとおり								
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特になし									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	別紙のとおり								
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
特になし									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	別紙のとおり							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特になし									

【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
特になし									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特になし									

【目標】										
① 計 画	産業廃棄物の種類	別紙のとおり								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)									
	・ 処理の委託先として、優良認定処理業者へ委託量を増やす。									
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書内訳(今年度目標値)

(単位:トン)

産業廃棄物の種類	① 排出量	② 自ら直接再生利 用した量	③ 自ら直接埋立処 分又は海洋投入 処分した量	④ 自ら中間処理し た量	⑤ ④のうち熱回収 を行った量	⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量	⑦ 自ら中間処理によ り減量した量	⑧ 自ら中間処理した 後再生利用した 量	⑨ 自ら中間処理した 後自ら埋立処分 又は海洋投入処 分した量	⑩ 直接及び自ら中 間処理した後の 処理委託量	⑪ ⑩のうち優良認定 処理業者への処 理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用 業者への処理委 託量	⑬ ⑩のうち熱回収認 定業者への処理 委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認 定業者以外の熱 回収を行う業者へ の処理委託量
コンクリートがら	30.0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.0	0	30.0	0	0
アスファルトがら	40.0	0	0	0	0	0	0	0	0	40.0	0	40.0	0	0
木くず	1,000.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000.0	0	1,000.0	0	0
金属くず	20.0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	0	20.0	0	0
ガラスくず・コンクリ ートくず・陶磁器くず	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0	0	5.0	0	0
ガラスくず	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	10.0	0	0
廃プラスチック類	20.0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	0	20.0	0	0
建設混合廃棄物	100.00	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0	100.0	0	0
合計	1,225	0	0	0	0	0	0	0	0	1,225	0	1,225	0	0

産業廃棄物処理計画実施状況報告書内訳(前年度(令和6年度)実績)

(単位:トン)

産業廃棄物の種類	① 排出量	② 自ら直接再生利用した量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
コンクリートがら	12.8	0	0	0	0	0	0	0	0	12.8	0	12.8	0	0
アスファルトがら	33.4	0	0	0	0	0	0	0	0	33.4	0	33.4	0	0
木くず	870.6	0	0	0	0	0	0	0	0	870.6	0	870.6	0	0
金属くず	14.4	0	0	0	0	0	0	0	0	14.4	0	14.4	0	0
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0
ガラスくず	9.2	0	0	0	0	0	0	0	0	9.2	0	9.2	0	0
廃プラスチック類	14.6	0	0	0	0	0	0	0	0	14.6	0	14.6	0	0
建設混合廃棄物	63.31	0	0	0	0	0	0	0	0	63.3	0	63.3	0	0
合計	1,018	0	0	0	0	0	0	0	0	1,018	0	1,018	0	0